

第5学年 総合的な学習の時間

つきたい力

身近な自然や対象に興味・関心を持ち、適切な課題を設定し、その課題に向かって見通しを持つ力
 自分の課題を解決するための適切な方法を選び、ねばり強く追究する力
 調べたことや自分の考えを、課題や伝える相手を意識して、効果的な方法で分かりやすくまとめる力
 地域の人や自然、環境に関心を持ち、積極的に関わっていかうとする力
 自分の取り組みを振り返り、生活の中に学んだことを生かす力
 情報を引き出す力
 思考・判断する力
 表現する力

第5学年の主な学習内容

学期	単元・題材名	学 習 活 動
前期	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 5年生では、どんな学習を進めていくか話し合う。
	人と地球にやさしい米作りをしよう (1)	<ul style="list-style-type: none"> お米のルーツ、米作りの現状や無農薬栽培などについて学習する。 田植えの準備(田おこし、代かき)をし、田植えをする。 草取り、追い肥をする。 稲の成長を記録する。
	矢野の環境を見つめ、考えよう ～「今、地球上で起きている環境問題」 について調べよう～	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に興味を持ち、調べたいテーマを決める。 テーマについて、多様な方法でできるだけ幅広く調べる。 インターネットを利用して、知りたい情報を入手する。 調べたことを分かりやすく、方法を工夫してまとめる。
	英語であいさつ 動いてみよう等 (英語科)	<ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶をしたり、教師の質問に答えたりする。 音声CDを聞いて、発音する。
	標識の秘密を探ろう等 (言語数理運用科)	<ul style="list-style-type: none"> 複数の標識から情報を読み取り、見学ルートなどを考え、図や数式を用いて表現する。
	矢野の環境を見つめ、考えよう ～矢野町の環境について調べよう～	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の学習をもとに、矢野町の環境について興味を持ち、調べたいテーマを決める。 テーマについて、解決のためのよりよい方法を考え、見通しをもって調べる。 調べたことを、分かりやすく、方法を工夫してまとめる。 発表会を開き、成果を発信する。
後期	人と地球にやさしい米作りをしよう (2)	<ul style="list-style-type: none"> 稲刈りの準備をし、稲刈り体験をする。 もみすり・脱穀をする。
	地域安全マップづくり	<ul style="list-style-type: none"> VTRを視聴し、安全マップ作りについて知る。 危険を回避するにはどうしたらよいか考える。 地域に出て調査を行う。 調べたことをマップにまとめ、発表する。
	障害について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子の扱い方を知り、VTRを視聴後、体験する。
	スリー・ヒント・クイズ等 (英語科)	<ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶をしたり、教師の質問に答えたりする。 クイズを通して、教師や友達と楽しく活動する。
	広島市の気温から考えよう等 (言語数理運用科)	<ul style="list-style-type: none"> 広島市の過去の気温から、資料には意図的に作成されたものがあることに気づき意図的な資料を作る。

人と地球にやさしい米作りをしよう (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫した米でおにぎりを作る。 ・ みんなで感謝して食べる。
矢野の環境を見つめ、考えよう ～住み良い矢野町にするために自分たちにできることを考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期の学習をもとに、「住み良い矢野町にするために自分たちでできること」を考える。 ・ 見通しを持ち、計画的に実行する。 ・ 自分たちの調べたこと、実行したことを自分なりに工夫してまとめる。 ・ まとめたことを自分なりの方法で発信する。
まとめをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の学習を振り返り、自分の良さや伸びに気づく。

評価の観点・方法

(1) 評価の観点

自ら課題を発見することができる。

自ら学び、自ら考え、判断し、行動するような主体的な学習活動ができる。

情報の集め方や調べ方、発信の仕方などの学び方が身に付く。

学習課題を自己の生き方と関係付けて考えることができる。

(2) 評価の方法

「総合的な学習の時間」では、数値などによる評価は行いません。学年の各観点別の到達目標に沿って、学習への態度、成長の様子などを個人内評価し、記述の形で評価します。

発表や話し合いの様子などから評価したり、自己評価カードを活用したりします。

ワークシート、作品などをファイルし、活動の軌跡として振り返り、活用しながら自己評価や相互評価を活用します。

発表会や製作物を通して評価していきます。

特色ある学習方法

(1) 見学や調査などの体験的な活動を十分に仕組むことで、対象への興味・関心を持たせたり、感じた不思議さや素晴らしさから、自分なりの課題を見付けさせたり、意欲的に学習に取り組めるようにします。

(2) 子どもたちが自ら学習を進めていくことができるようにするために、学習の手引きを作成します。また、活動への見通しが持てるように、ワークシートも活用します。

(3) 情報機器や情報ネットワークを活用します。

(4) 地域の方やゲストティーチャー、保護者の方などの協力を得て、児童が主体的に調査活動に取り組み、広がりのある学習活動が展開できるようにします。

(5) 地域の方や保護者、お世話になった方を招待して発表会を開き、学習の成果をより多くの方に発信します。

使用教材等

総合的な学習の時間では、児童が触れるものすべてが教材となってきます。自分の課題を追究するために、さまざまな調査活動を行えるよう学習の手引きでも紹介するとともに、その活用についても指導していきます。

留意事項

総合的な学習の時間は、地域や学校、子どもたちの実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色のある教育活動を行うことができる時間です。5年生では、「地域の人とのかかわり」をするため地域に出て活動します。そこで、地域の方にインタビューしたり、安全管理のためのボランティアをお願いしたりすることもあると思います。児童の願いや思いが実現できますようご支援、ご協力をお願いいたします。